

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2013.12) 平成24年度:18.

血液内科病棟における院内歯科口腔外科との協働
— 口腔ケア回診を試みて —

齋藤香織 加藤朋香 久守一也 稲場加奈 小山由貴 尾
崎靖子 業天洋美 黒崎明子 小神順也 藤倉弓子 松田
光悦

血液内科病棟における院内歯科口腔外科との協働—口腔ケア回診を試みて—

○齋藤香織¹、加藤朋香¹、久守一也¹、稲場加奈¹、小山由貴¹、尾崎靖子¹、
業天洋美¹、黒崎明子¹、小神順也²、藤倉弓子²、松田光悦²

1 旭川医科大学病院 5階西病棟（血液内科病棟）

2 旭川医科大学病院歯科口腔外科

【目的】

看護師の口腔ケアへの認識、口腔内のアセスメント力やケアの向上を目的とし、口腔ケア回診を導入した結果を報告する。

【方法】

期間：2011年7月～2012年1月

方法：7月 口腔ケアに対する意識・知識・技術に関するアンケート実施。口頭で説明、同意を得た。

8月 口腔ケア回診導入。移植患者、救援療法を受ける患者、口内保清に介助が必要な患者を対象に週1回実施

9月 歯科口腔外科医師・歯科衛生士による学習会を実施

1月 7月のアンケートを再度実施、学習会・回診についての意見を調査

【結果】

7月のアンケートは、看護師23名に実施し、回収率は100%だった。結果は、口腔ケアの必要性は理解しているが時間の不足で十分に行えない、あるいは知識・技術面で口腔内の問題の指摘や適切な用具の選択に自信がないという回答が多かった。

口腔ケア回診は8月から1月までに110症例実施した。1患者の所要時間は約10分で1日の回診時間は約1時間であった。口腔外科医師からは、「口腔内の変化に早く気付けるが、週1回の回診では変化に追いつけない時もある」との意見が聞かれた。看護師からは「在院日数が短く継続して観察ができない、業務が多忙で回診につくのが難しい」との意見が聞かれた。

口腔外科医師による学習会は観察・アセスメント方法・保湿ケアについて行い、歯科衛生士による学習会はブラッシング指導・保湿剤の紹介を行った。「保湿の大切さを学んだ」、「含嗽剤の種類がわかった」との意見が聞かれた。

1月のアンケートは、看護師23名に実施し、回収率は100%だった。結果は、「口腔内の観察をして口腔内の問題を指摘することができる」の項目は、回診導入前は5段階評定で4が4人、3が13人、2が4人、1が1人だった。導入後は、4が13人、3が9人、2が0人、1が0人、無回答1人であった。その他、「口腔内の注目度や意識が向上し以前より自信をもって関われるようになった。口腔外科医師と一緒に観察することですぐに医師の所見がわかる」などの意見が聞かれた。

【考察】

学習会を通して口腔ケアの必要性を再認識し、知識・意識の向上に繋がった。また、口腔ケア回診を行うことで看護師は口腔内に注目して関わるようになり、患者自身も口腔内に関心を持ち意図的に観察する機会が増えたと思われる。今後看護師から口腔外科医師へ患者の日々の口腔内の症状の変化やケアの実施状況について情報を提供することで、回診がより有効的に実施されると考えられた。